

2022年2月17日作成

Ver.0.01

70歳以上の高齢者における右小開胸アプローチと正中切開の治療成績の比較

1、研究の目的と意義

心臓弁膜症手術の皮膚切開には、右胸部小切開、もしくは、胸部正中切開という2つの方法があります。高齢者の方には、手術侵襲が低い右胸部小切開がお勧めですが、手術でトラブルが起きないように配慮することが非常に重要です。特に、動脈硬化が強い患者さんは、右胸部小切開よりも正中切開の方が、安全性が高いとされています。私たち長崎大学病院心臓血管外科でも、安全第一に患者さん毎に適切と考えられる皮膚切開を選択してきました。

今回、右胸部小切開、もしくは、胸部正中切開で手術を受けた患者さんの治療成績をまとめ、手術成績の向上のため研究を行います。

2、対象となる患者さん

2009年9月1日から2020年12月31日までの間に右小開胸アプローチ、もしくは、正中切開にて僧帽弁、もしくは、三尖弁手術を受けた70歳以上の方。

3、研究の方法

入院日数、合併症発症率、リハビリテーションの進行具合などのデータを2つの手術方法の間で比較します。

4、研究に用いる情報

- 患者背景：性別、年齢、身長、体重、併存疾患
- 心エコー検査：左室拡張末期・収縮末期径、左室駆出率など
- 手術内容：手術時間、体外循環時間、大動脈遮断時間、弁形成術か置換術か
- 術中合併症：大動脈解離、脳梗塞、右小開胸症例では正中切開へのコンバージョンなど
- 術後合併症：挿管時間、ICU滞在時間、入院日数、出血再開胸、人工呼吸器時間の延長、新たな血液透析導入、縦郭炎を含む創部感染症、術後新たな心房細動の発症、消化管合併症など
- 術後リハビリテーション進行具合：歩行の術後開始日

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2022年05月31日

6、外部への試料・情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 心臓血管外科

研究責任者名 三浦 崇

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 心臓血管外科 三浦 崇

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7307 FAX 095（819）7311

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）